

平成30年度「福井ふるさと元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果 (平成31年3月末現在)

「福井ふるさと元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成30年4月に知事と合意した「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成31年3月

会計管理者 岩壁 明美

項 目	実 施 結 果									
<p>◇適正な会計事務の執行</p> <p>○適正な会計事務の執行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全出先機関を対象とした会計事務の検査を実施し、特に現金領収事務などの歳入事務について重点的に指導します。さらに、他自治体で不正な会計処理が発生した際には、同様の事案が起きないように、早い段階で検査し、指導に当たります。 ・会計事務の専門研修を通じて担当職員の資質向上を図るとともに、事務担当以外の職員についても、研修機関が行う一般研修の必須項目として基礎的な知識の習得を進めます。 ・所属長による会計事務の統制や複数職員による会計処理を徹底します。 	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>全出先機関を対象に会計事務が福井県財務規則などの関係規程に基づき適正に行われているか年度前半に検査し、指導を行いました。 さらに、指導事項の多い所属については、下半期に是正状況を確認しました。</p> <p style="padding-left: 20px;">検査指導実施所属数 116所属（全出先機関） 会計事務是正状況調査確認所属数 16所属</p> <p>県内自治体での不適切な公金処理を受けて、会計事務の適正執行の徹底を改めて指示するとともに、現金の領収体制や保管状況などについて所属長自らが確認する緊急点検を実施しました。また、現金領収事務が多い所属等を重点的に検査・指導しました。</p> <p style="padding-left: 20px;">現金領収事務検査実施所属数 14所属（本庁11、出先3）</p> <p>会計事務を担当する職員を対象にレベルに応じた専門研修を実施し、必要な専門知識を習得させるとともに、研修機関が行う一般研修においても基礎的な知識の習得を進めました。 また、6月に会計事務ヘルプデスクを開設し、会計事務に関する様々な相談ができる環境を整備するとともに、職員ポータルサイトにQ&Aを掲載して効率的に検索できるようにしました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">会計事務の専門研修</td> <td style="text-align: right;">40回</td> <td style="text-align: right;">延1,209名参加</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">研修機関が行う一般研修</td> <td style="text-align: right;">2回</td> <td style="text-align: right;">132名参加</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ヘルプデスク相談件数</td> <td style="text-align: right;">817件</td> <td></td> </tr> </table> <p>複数職員による会計処理を徹底するため、全所属長に対し次の事項について報告を求め、おおむね適正に処理されていることを確認しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 月次単位で帳簿と会計書類を再照合 ② 年単位で会計事務全体を自己点検 ③ 臨時に現金の領収体制と保管状況を点検 	会計事務の専門研修	40回	延1,209名参加	研修機関が行う一般研修	2回	132名参加	ヘルプデスク相談件数	817件	
会計事務の専門研修	40回	延1,209名参加								
研修機関が行う一般研修	2回	132名参加								
ヘルプデスク相談件数	817件									

項目	実施結果								
<p>◇公金の的確な管理運用 ○公金の的確な管理運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預金金利が極めて低い状況にある中、資金収支を常に注視しつつ、余裕資金を確実な方法できめ細かに運用します。 ・支払資金に一時的な不足が見込まれる時には、基金等の県内部資金を活用するなど、最も有利な方法で調達します。 	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>資金収支状況を注視し、余裕資金をきめ細かに運用しました。</p> <p>歳計現金の運用回数・利息収入</p> <table border="0"> <tr> <td>平成30年度実績</td> <td>200回</td> <td>5,629千円</td> </tr> <tr> <td>〔平成29年度実績</td> <td>148回</td> <td>8,865千円〕</td> </tr> </table> <p>歳計現金が減少する時期である平成29年度出納整理期間（4月、5月）において、支払資金に一時的な不足が見込まれたため、基金を活用（繰替運用）しました。</p>	平成30年度実績	200回	5,629千円	〔平成29年度実績	148回	8,865千円〕		
平成30年度実績	200回	5,629千円							
〔平成29年度実績	148回	8,865千円〕							
<p>◇良質な工事の確保 ○安全管理や環境等に配慮した検査の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事工程の早い段階において、安全管理・環境への配慮等について検査し、不適切な事項があれば受注者に対し改善を求めます。 ・安全で利用しやすい公共施設となるよう、設計業務の検査段階に加え、工事の検査段階においてもチェックを行い、不具合があれば発注者に対し改善を求めます。 	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>工事工程の早い段階において、事前通知なしで検査・確認を行い、不適切な事項の改善を求めて、工事施工の適正化を図りました。</p> <p>工事工程の早い段階における検査</p> <table border="0"> <tr> <td>平成30年度実績</td> <td>101件</td> </tr> <tr> <td>（うち改善を求めた工事件数</td> <td>19件）</td> </tr> </table> <p><改善された主な事例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業許可票の看板設置や建設機械の点検を指導 <p>設計の検査段階だけでなく工事検査の段階においても、設計・施工に関するチェックを行い、不具合な部分の改善を求めて、より利用しやすい施設となるよう努めました。</p> <p>設計に関するチェック</p> <table border="0"> <tr> <td>平成30年度実績</td> <td>164件</td> </tr> <tr> <td>（うち改善を求めた工事件数</td> <td>24件）</td> </tr> </table> <p><改善された主な事例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮設校舎の出入り口に設置した木製手摺にグラつきがあり危険であるため、合板による面材を用い補強 ・新設した遊具の負傷する恐れのある個所に金具を固定したり、角を丸くするなど改善 	平成30年度実績	101件	（うち改善を求めた工事件数	19件）	平成30年度実績	164件	（うち改善を求めた工事件数	24件）
平成30年度実績	101件								
（うち改善を求めた工事件数	19件）								
平成30年度実績	164件								
（うち改善を求めた工事件数	24件）								

【実施結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)